

2. 食糧問題

2006.6

●現状（国連FAO（食糧農業機関）などの報告から）

- ・毎日4万人（毎年1500万人）の子供が餓死、
- ・飢餓人口は約12億人（世界の5人にひとりには飢えている）

●需要は増加していく

- 人口増加；2000年60億人 ⇒ 2050年90億人
今でも12億人が飢えているのに、さらに30億人分の食料が必要！
- 生活の向上；肉食、加工食品へ移行 ⇒ 穀物や原料、エネルギー消費が増大！
※肉1キロに必要な穀物飼料；牛肉⇒8キロ、豚肉⇒5キロ、鶏肉⇒3キロ
- ・中国の肉の消費は5倍以上に（1977年770万トン⇒1994年4000万トン）
⇒ 穀物の輸出国から輸入国に転落！ 多くの途上国も同じ事が起きる可能性！

●今後、供給は減少する

- 農地の減少と劣化
 - ・工業化；工業用地のため農地が減っている。大気汚染、水汚染、土壌汚染
 - ・都会化；アスファルト、コンクリート、車道、ビル、住宅のため農地が減少
 - ・土地の酷使；機械化、農薬、連作、過放牧、森林破壊、土壌流出
- 水不足；灌漑用水の限界、すでに世界人口の約40%が慢性的な水不足
- 地球環境問題；最大の問題は地球温暖化
 - ・気候変動（温度上昇、海面上昇、豪雨、干ばつ）は農業に大打撃
 - すでに異常気象により、大豆、小麦などの穀物在庫は急減、過去7年間で最低、食糧危機が叫ばれた96年の水準を大きく割り込んでいる。

●今後の世界の食糧は？

- ・中国だけでも 2030年2～3億トン（約6～10億人分）不足
- ・アジア全体で 2020年5億5千万トン（約18億人分）不足
- ・しかし可能な供給量は2億トン、増産の見込みはない
- ・2010年以降、世界全体で食糧危機が始まる！
- ・自給率最低の日本は最も危険！
※1人当たりの穀物消費は約300キロ/年

●日本の現状

- ・毎日、3000万人分の食糧をゴミとして棄てている（コンビニや家庭などで賞味期限切れとして）
- ・日本の食糧の大部分は輸入品、フードマイル[※]は、米国や韓国の約4倍。日本は長距離・大量輸入大国！
※フードマイル = (輸入食品の量) × (運ばれた距離)
- ・穀物自給率では、日本は先進国で最低
⇒ 日本の食糧自給はすでに破綻している

食糧（穀物）自給率

アメリカ	119%
E U	109%
中国	100%
ロシア	99%
インド	97%
ブラジル	91%
北朝鮮	78%
日本	28%

国連FAO「フードバランスシート2006」

●世界の多くの漁場で漁獲量も減少している

- ・乱獲による成魚の減少 ⇒ 幼魚の減少 ⇒ さらに漁獲の減少（悪循環）
- ・オゾン層破壊による有害紫外線Bの増加 ⇒ プランクトンの減少
- 地球温暖化による海水温の変化 ⇒ 海流の変化、えさの減少
- 環境ホルモンによる生殖以上、大量死

※世界の流通量の31%（世界第一位）を輸入している日本は最も危険！

●もし日本への食料輸入がストップしたら、…

農地面積、栽培用の種子の量、農業人口などから算定して、
1年間で3000万人以上が餓死すると報告。（「食糧輸入ゼロの日」1978年 NHK）

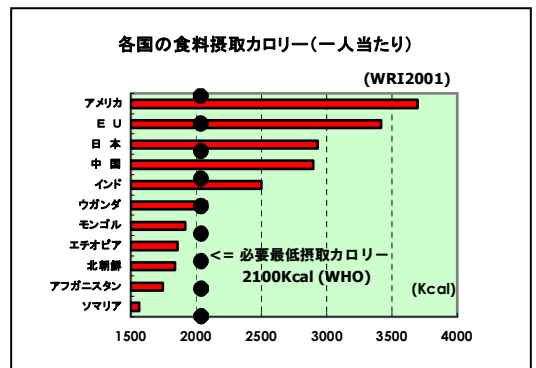
現在では、減反政策の強化、種子の輸入依存は増大、離農者の増大、人口増加などにより、さらに餓死者は増大。

農水省は、輸入途絶時を想定し「食糧安全保障マニュアル」を作成。（農地以外の土地の農地化、食糧の配給制、農林漁業へのエネルギー（石油）優先供給が必要）

実は日本は、ソマリアやアフガンなどと同様の食糧危機の国

●飽食のために健康と生命が・・・

- ・飽食のために、世界の肥満人口は12億人。
⇒ ガン、心臓病、脳卒中、糖尿病が増加。
※先進国の死亡原因の半分以上を占めている。
- ・遠距離輸送や輸入ものが増加
⇒ 冷蔵庫、防腐剤、防腐加工が不可欠
⇒ 自分の身体を害し、健康を害している。
経済拡大の追求によって、私たちは生命や健康、未来を失っている。



●私たち（先進国）が変わらない限り破局は避けられない

日本でも100年前までは自給自足だったが、減反政策、工業化、経済成長の結果、大量輸入、飽食によって、周りの途上国をも破綻させるようになってしまった。

つまり私たちの生活が、自分の国だけではなく、食糧輸入の相手国の大地を汚染し、水を汚染し、途上国の人たちの生活を崩壊させている。

食糧危機は、途上国の問題ではなく先進国の問題。

私たちが「当たり前」と思っている現状のライフスタイルを見直すことが不可欠。

●私たちにできること

- ・まず食べる量を（例えば1割）減らそう
- ・無駄な買い物、肉食、食べ残しを減らそう
- ・国産品、無農薬の農作物を選ぼう
- ・輸入品や季節はずれの食品（ハウスの果物、野菜など）は避けよう
- ・家庭菜園を始めよう（ドイツでは野菜の20%を家庭菜園で作っています）
- ・自給自足をめざそう（脱サラ、脱都会、ふるさとへUターン、農業を始める）